

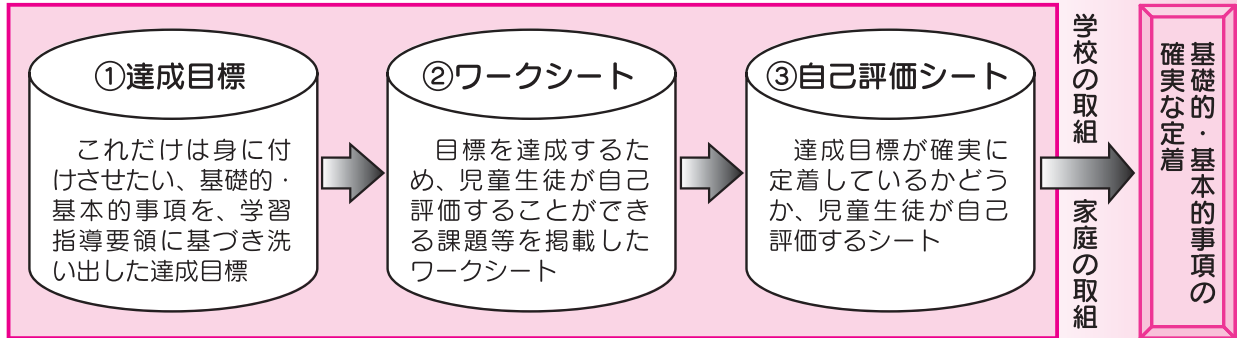
基礎学力定着プログラム (概要)

1 プログラムの目標

本プログラムでは、これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標とする。

- 基礎的・基本的事項とは、「日常生活において、また、学習を円滑に進める上で不可欠であり、各教科で確実に身に付けておきたい内容」を意味する。
- 本プログラムでは、漢字の読み書きや乗法九九など、これだけは身に付けさせたい知識や技能に焦点を当てている。

2 プログラムの構成



- ※①達成目標の国語については、「読む」「書く」などの観点から整理して、小学校 23 項目、中学校 14 項目、合計 37 項目の達成目標を設定した。算数・数学については、「計算」や「図形」などの観点から整理して、小学校 68 項目、中学校 34 項目、合計 102 項目の達成目標を設定した。
- ※本プログラムは、① → ② → ③で構成されている。各学校では、本プログラムを推進するとともに、各教科の特質に応じて工夫改善を図り、児童生徒の基礎的・基本的事項の確実な定着に努める。
- ※①・②・③については、さいたま市のホームページ (<http://www.city.saitama.jp/>) に掲載している。
さいたま市のホームページ>子育て・教育>教育委員会>さいたま市教育委員会の主な事業>基礎学力定着プログラム (国語)
基礎学力定着プログラム (算数・数学)

3 取組事例

- (1) 活用時間・時期
・朝自習 ・授業中 ・放課後 ・単元末、学期末、学年末 など
- (2) 活用方法
・復習 ・補習課題 ・算数コーナーへの掲示 ・児童生徒の個人ファイル化
・家庭への発信、情報提供 (学校・学年だよりなど) など

4 家庭との連携

児童生徒の基礎学力の向上を図るためには、家庭との連携が重要となる。各学校においては、基礎学力の向上に係る取組等についての趣旨説明、達成目標や例題を示した「じっくり しっかり くり返し」の紹介等を行い、学校・家庭が連携して、様々な取組 (教材、課題、評価、支援など) が行き来する仕組みの構築に努める。

5 イメージ図

